



新たな時代の新たな「豊かさ」を考える

あづま いっぺい

東 逸平 (29) 石川県金沢市

私は、小規模・低コストで始めることができ、環境にも配慮した持続可能な自伐型林業を生業にしたい。北陸石川より余呉町菅並に移住して参りました。自伐型林業を通して、活用目的が激減した国産材に再び光を当て、手入れされずに暗く荒廃してしまった森を、健全で明るい森にしていきます。

自伐型林業は専業ではなく兼業で行う場合が多いので、個人的には狩猟などを行い、中山間地域の農林業に対する獣害対策を行っていききたいです。さらに、獣を単なる害としてとらえず肉として食料にしたり、また切り出した木の一部を薪などの熱エネ



ルギーとして利用するなど、他の生命を尊び、自然との共生を目指すと共に、経済的に不安の多い現代で、貨幣経済に依存することなく、自給的暮らしを取り入れ、経済と自給のバランスが取れた生活を実現させます。

こうした地方での新たな暮らし方を発信することで、次世代の若者が地方へ移住定住するきっかけになれば幸いです。

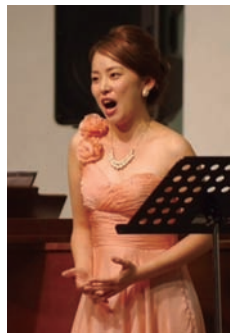


誰もが文化芸術活動をしやすい環境をつくる

もり や ゆい

森屋 結 (27) 大阪府和泉市

地域おこし協力隊の募集を知ったのは知人からの紹介でした。それまでは、音楽を勉強し、大阪を中心に舞台やコンサートに出演していました。長浜市が、文化・芸術、特に今年からオペラに力を入れると伺い興味を持ちました。地域おこし協力隊の活動を通してまちづくりに参画すること、自分の居場所を持つて、これまで以上に楽しみながら音楽ができるかもしれないという期待が移住の決め手になりました。地域の人々の音楽への理解が深まり、より多くの方がもっと気軽に音楽に触れられる土壌を作っていきたいと思っています。私自身、演奏活動をする



上で、続けていく難しさや活動場所の問題などを感じていました。廃校や既存施設を利用し、より開かれたものにし、誰もが活動しやすい環境づくり、仕組みづくりに携わりたいと思います。

3月13日(日)に、余呉はこもホールで、オペラコンサートをします。ぜひお越しくださいませ！

人が集うモデルケースを

しいな そうじ

椎名 壮司 (38) 神奈川県相模原市

長浜市と縁のなかった私が協力隊になったのは、市が募集していた「自伐型林業のモデルケースをつくる」というミッションに魅力を感じたからです。「自伐型林業」とは誰でもできる方法で持続的に山林から利益を得ながら、その他にもいろいろな取り組みをして生計を立てていくという林業のやり方です。自伐型林業の自由度の高さと小規模ならではの自立した仕事の方法に共感し、それを叶えるべく、長浜に移住して参りましたが、協力隊の任務を通じて長浜に貢献していきたいと考えています。



長浜の協力隊に決定する前は、自伐型林業を実践するにあたっての足掛かりがなく、困ったら高知に移住して打開策を探ろうと思っていました。それは高知が自伐型林業の代表的な発信地であったからです。長浜でモデルケースを作るという仕事は、高知に行ったらなんとかなるかも、と思っていた半年前の自分のような人たちが長浜に引き寄せられることになるかも知れません。また、そうなるようしつかりやっていこうと思います。



アートで人の輪を広げたい

う え だ じゅんぺい

植田 淳平 (35) 東京都文京区

志望した理由は、今回の募集要項にもあった「文化芸術を使った地域おこし」に取り組めること。そしてもう一つは「人」です。東京で約7年間IT関連の企業で会社員をしていました。昔から絵を見に行くことが好きで、何か新しいことを始めようという時や気分が落ち込んだ時には、よく美術館へ絵を見に行つて、気持ちの整理をしていったんです。生活必需品ではないですが、何故か、ないと困るものでした。そこで「好きなアートを仕事にしたい」と思うようになっていったんです。その後、モノづくりをしている方や芸術系イベントを伝える「MediArt」という



サイトを作り取材を始めました。それから一年半たった頃、この募集を知り、経験を活かせると思ったんです。私の紹介者が長浜市出身で、採用が決まる前から色々な人を紹介してくれました。知らない土地に行く不安もありましたが、そこは大きかったですね。着任してからお会いした人たちも、面白く、かつ快く迎えていただいているので助かっていますし、今後一緒に何かをやっていきたいです。

